

[専門教育科目/看護の展開/在宅看護学]

科目名	ナンバリング	区分(必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
在宅看護学概論	NSP21_004	必修	2	2	前期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
山崎 洋子 他	301	y.yamazaki	授業日の 12:30~13:00		
授業の目的・概要	在宅看護の歴史や在宅看護が必要とされる社会的な背景を踏まえ、在宅看護の概念と対象者や活動の場、活動方法の特徴、在宅看護を取り巻く保健医療福祉資源とそのシステムについて学習する。その上で、在宅看護の役割や意義を検討する。さらに、在宅看護の対象者でもある家族の定義や特徴・発達過程、家族を対象とした看護の意義と目的を理解し、家族構成員の様々な健康レベルによるヘルスニーズと家族の問題によって発生する在宅看護上の問題を理解し、家族を含めた援助の方法・技術を学修する。この授業は印刷教材を用いた課題学習で行う。				
学習上の助言	日常生活援助の方法・技術や人間の成長発達、既習の疾病の治療などについてはよく復習しておく。				
教科書	ナーシング・グラフィカ在宅看護論① 地域療養を支えるケア/編:臺有佳ほか/メディカ出版/2019				
参考書	系統看護学講座 在宅看護論/著:河原加代子ほか/医学書院/2017				
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針		
①	在宅看護の特徴と在宅看護に携わる看護者の役割を説明できる。		NS(1)(5)		
②	在宅看護を展開するために必要な情報とアセスメントの視点について説明できる。		NS(3)		
③	在宅療養者の家族の支援に必要な情報とアセスメントの視点について説明できる。		NS(3)		
④	在宅療養者とその家族を支えるための社会資源や地域包括ケアシステムを説明できる。		NS(2)(4)		
⑤	在宅療養者とその家族を支える多職種との連携方法や看護専門職の役割を説明できる。		NS(2)(4)		
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間(時間)		
1	在宅看護の概念・目的・特徴 フィードバック:資料の送付 意見交換の機会:メール	印刷教材の授業	在宅看護とは、どのような看護か? 在宅看護の目的や特徴について学ぶ。	4	
2	在宅看護の発展の歴史 在宅看護を展開するための基本理念 在宅看護における看護師の役割 フィードバック:資料の送付 意見交換の機会:メール	印刷教材の授業	在宅看護は、国内外でどのように発展してきたかを考察する。	4	
3	在宅療養者を取り巻く現状と看護 フィードバック:資料の送付 意見交換の機会:メール	印刷教材の授業	在宅で療養する人々の現状を理解する。	4	
4	在宅療養者とその家族を支える看護職 フィードバック:資料の送付 意見交換の機会:メール	印刷教材の授業	在宅で療養する人々を援助する援助者の現状を理解する。	4	
5・6	在宅療養者と家族の理解 フィードバック:資料の送付 意見交換の機会:メール	印刷教材の授業	在宅療養者と共に生活する家族を理解する。	8	
7・8	家族アセスメントの視点 フィードバック:資料の送付 意見交換の機会:メール	印刷教材の授業	家族をアセスメントの方法を学ぶ。	8	
9	在宅療養者とその家族を支えるしくみ フィードバック:資料の送付 意見交換の機会:メール	印刷教材の授業	我が国の地域包括ケアシステムについて学ぶ。	4	
10	在宅療養者を支援する訪問看護のしくみ フィードバック:資料の送付 意見交換の機会:メール	印刷教材の授業	我が国の訪問看護制度について学ぶ	4	
11	在宅療養者を支援する訪問看護の実際 フィードバック:資料の送付 意見交換の機会:メール	印刷教材の授業	事例解説しながら訪問看護活動を紹介する。	4	
12	在宅療養者とその家族を支えるための多職種 フィードバック:資料の送付 意見交換の機会:メール	印刷教材の授業	在宅療養者とその家族を支えるための多職種連携の必要性について考える。	4	
13	多職種で支える在宅療養者とその家族への援助 フィードバック:事例の提示、課題提出、援助の実際とその解説講義で構成する。 フィードバック:資料の送付 意見交換の機会:メール	印刷教材の授業	事例を解説しながら多職種で支える在宅療養者とその家族への援助を考える。	4	
14	在宅での看取りの援助 フィードバック:資料の送付 意見交換の機会:メール	印刷教材の授業	在宅で最期を向かえる療養者とその家族への援助について考える。	4	

[専門教育科目/看護の展開/在宅看護学]

15	在宅看護の今後の動向 フィードバック:資料の送付 意見交換の機会:メール	印刷教材の授業	在宅看護活動の課題、今後の発展について考察する。	4			
試	レポート 達成度評価・評価のポイント参照						
達成度評価							
総合評価割合(%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		0	90	0	0	10	100
総合力指標	知識・技術力	0	50	0	0	0	50
	思考・推論・創造する力	0	20	0	0	0	20
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	10	0	0	10	20
	問題を発見・解決する力	0	10	0	0	0	10
評価のポイント						フィードバックの方法	
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
レポート	①					在宅看護について理解した学生自身による考察を重視する。	レポートは後日、コメントを入れて返却する。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
その他	①					レポートによる積極的な疑問の提示、意見を期待する。レポートの提出期限の厳守、出席状況を成績に反映させる。	問題が生じた場合は、個別に面接を行う。
	②						
	③						
	④	✓					
	⑤	✓					
備 考							
担当教員:◎山崎洋子、渡邊美樹、							
<b>教員の実務経験:</b> 山崎:行政保健師 10年、大学院退院支援活動の経験を有する。 渡邊:病院看護師、行政保健師、訪問看護師の経験を有する。 <b>実践的授業の内容:</b> 講義では、経験した実践事例を用いて在宅看護の理解を深める解説を行う。							
・授業の内容を時に変更することがある。 ・本科目を履修していなければ、在宅看護実習Ⅰ、Ⅱは履修できない。							